

**学校教育目標 豊かな心を持ち かしこく たくましい子どもの育成**

めざす子ども像 思いやりの心を持ち 礼儀正しく行動する子ども [なかよく]  
 自ら学び 友と対話し 深く考える子ども [かしこく]  
 よく食べ よく運動し 命を大切にする子ども [たくましく]

・児童の実態 ・地域の実態

ふるさと未来(あす)を  
創造する八田の子ども

・保護者の願い ・地域の願い

**めざす学校像**

- 1 仲よく助け合い、笑顔の集う学校
- 2 学ぶ楽しさにあふれる学校
- 3 整然とした、美しい学校
- 4 安全で安心な居場所としての学校
- 5 ふるさと八田を誇れる学校

**めざす教師像**

- 子どもとのふれあいを大切にし、子どもとともに成長する教師
- 自己を高め、創意工夫して実践する教師
- 学ぶ姿勢をもち、互いに磨き合う教師
- 目標に向かって協働し合う教師
- 心身ともに健康で、児童、保護者、地域、同僚から信頼される教師

**<本年度の学校経営の重点>**

- (1) 小中一貫校としての特色を生かした教育活動を展開し、全職員によるカリキュラムマネジメントを通して、より実効性のある教育課程の編成と実施に努める。
- (2) 新学習指導要領のねらいに即し、確かな学力と求められる資質・能力の育成に努める。
- (3) 豊かな心を育み、学校に来ることが楽しみに思える心地よい集団づくり・人間関係づくりに努める。
- (4) 命、体力、健康・安全、食育に関する指導の充実に努める。
- (5) 多様な学びの場を通して特別支援教育を推進し、その充実に努める。

**具体的な取り組み内容**

**小中一貫教育の推進**

- 4つのつなぐプロジェクトの推進
  - ・教科の系統性を意識した授業づくり
  - ・乗り入れ授業や出前授業の活用
  - ・小中合同校内研等職員交流、職員研修への積極的参加
- 中学校と連携したキャリアパスポートの活用

**確かな学力の育成**

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善
  - ・八田小学習スタンダードを活用した授業実践
  - ・重点カリキュラムに基づく活用型、探究型授業の実践
  - ・ICT活用や学習形態の工夫で言語活動の充実
  - ・単元末評価問題の活用
  - ・自主学習ノートを活用した家庭学習の推進
- プログラミング学習の確実な実施
- 外国語活動におけるコミュニケーション能力の素地育成

**豊かな心の育成**

- より良く生きるための基盤となる道徳性の涵養
  - ・考え、議論する道徳実践
  - ・ふれあい道徳の活用
- より良い信頼関係・人間関係の構築
  - ・達成感や成就感を実感できる取り組みの工夫
  - ・学級力アンケートやQ-Uテストの活用
  - ・アドジャンで関係づくり
  - ・児童と向き合う時間の確保と相談しやすい関係・環境づくり
  - ・児童会を中心とした“いじめ〇宣言”
  - ・いごちアンケートへの丁寧な対応

**健やかな体の育成**

- 養護教諭と連携した「いのちの授業」の実践
- 実践的な訓練による自助の精神と実践力の育成
- 休み時間の外遊び推奨
- がん教育、薬物・ネット依存防止教室などを活用した食生活や生活習慣の振り返り
- 家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」による望ましい生活リズムと食習慣の確立

**特別支援教育の充実**

- 支援学級児童と普通学級児童との交流による「かかわる力」の育成
- 全職員の共通理解と協力体制による指導と支援の充実。
- 個別の教育支援計画と合理的配慮を共有し、一貫性のある指導と支援の推進
- 保護者との連携および関係諸機関の有効活用
- 教職員の専門性向上のための学習会

**学年・学級経営の充実**

- ① 児童理解
- ② 学級・学年集団づくり
- ③ 温かな人間関係の構築と深化
- ④ 情報交換と共有
- ⑤ 保護者や地域との連携
- ⑥ 授業規律の確立
- ⑦ 学習習慣の定着
- ⑧ 各種たよりの発行
- ⑨ 清掃指導
- ⑩ 登下校指導
- ⑪ 将来なりたい自分探し(キャリア教育)

法令等 ・新学習指導要領

**第2次南アルプス市教育大綱**

理念 「南アルプス市の未来を創る人づくり」

- 目標1 生きる力を育む学校教育の充実
- 目標2 郷土の歴史的・文化的資源の活用と伝統文化の振興
- 目標3 生涯にわたる学習環境の整備・充実

**2021年度**

**山梨県学校教育指導重点**

- ◇ 確かな学力の育成
- ◇ 豊かな心の育成
- ◇ 健やかな体の育成
- ◇ 地域や世界で活躍できる人材の育成
- ◇ 特別支援教育の推進